

岡山県総合文化センターニュース

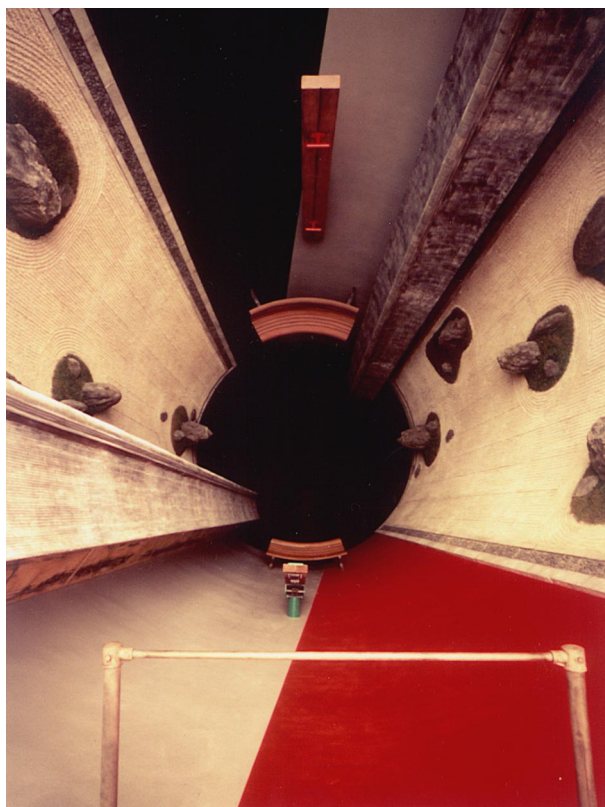
県内美術館所蔵作品紹介

奈義町現代美術館

展示室「太陽」「遍在の場・奈義の龍安寺・建築的身体」

（荒川修作 & マドリン・ギンズ）

普通、美術館とか展覧会といえは視覚優先ですが、ここでは勝手に違います。黄色に黒のサイケデリックな迷路のような部屋は、展示室「太陽」の前室です。壁面には沢山の町民や町内外の人達のスナップ・ショットが貼られています。人間は、必ずいつかは死を迎える時が来ますが、身体から魂が無くなっても、この部屋で永遠に生き続けることが出来るという、荒川修作 & M・ギンズのコンセプトを再現しています。部屋の真中には黒い筒が少し傾いていますが、内部に取り付けられた螺旋上の階段を手探りで、まるで「胎内潜り」のように登って行くと、正面からは自然光が差し込んで、全体に神秘的な雰囲気のある部屋に入ります。何か魚眼レンズで覗いているようなその部屋の左右に、京都の龍安寺そっくりの石庭が、円筒の部屋の中心軸を対称にして対に置かれています。内側に沿って180度回転した位置関係というべきでしょうか。床には校庭や公園にある鉄棒、シーソー、ベンチという非常に身近なものが対象に天井にも取り付けられています。この空間は、ここに来られた人達に日常とは異なった身体を経験を強制し、不思議な雰囲気を生まれさせ、そして考えさせる部屋 = 作品です。



奈義町現代美術館



〒708-1323 勝田郡奈義町豊沢441 TEL(0868)36-5811

建築家・磯崎新のプロデュースのもと、3組の世界的な美術家の作品 = 空間を美術館として建築化したものです。秀峰・那岐山のふもとに建つ当館は、太陽・月・大地を象徴的に表している三つの展示室からなった「建物と作品とが一体化」した全く新しいタイプの美術館です。

交通

1. 津山駅よりバス・タクシーで約40分
2. 美作インター・津山インターより約20分

総合文化センター展望



館長 広江 寿彦

新年あけましておめでとうございます。

新年を迎え、21世紀の文化センターを展望しようとしてみましたが、変

革の激しい時代にあって、せいぜい10年間ぐらいいしか展望は難しいところであります。

新県立図書館については、元丸之内中学校跡地に整備することとなり、現在、基本設計が進められています。13年度に実施設計、14・15年度に建築工事、そして、16年度前半に開館準備をし、秋には、オープンとなります。

昭和30年代に、旧県立図書館が核となり、幅広い文化施設として誕生した総合文化センターも、約半世紀ぶりに中心施設を失うこととなります。

その後の姿については、部内で、文化関係施設として活用することを検討中です。

平成17年の岡山国体の次の大きなイベントは、国民文化祭です。

国民文化祭は、文化庁が提唱し、第1回は昭和61年に東京都で開催され、以後、毎年都道府県持ち回りにより行われ、昨年は、お隣の広島県で開催されました。

岡山県では、平成20年代の早い時期に誘致されるものと思います。

今後、県内の文化団体が集う文化連盟も設立され、それらが中心となって県民文化祭そして国民文化祭が開催されていくものと思います。

私どもとしては、こうした動きや現在の展示室の利用希望が多い状況を踏まえ、図書館部門が使っていた部屋は、展示室を中心として活用したいと考えています。

併せて、今求められているのは、文化情報の受発信です。できれば、全国・世界の文化情報を集め、県民に提供していく、そして、県民が持つ情報を世界に向けて、発信できるようになれば、情報化、国際化が進む21世紀にふさわし

い文化センターではないかと考えています。

文化活動の主体は県民であり、新しい文化センターが県民の文化活動の中核的な役割を担うことができればよいと考えています。

* * *

図書館部門は、設備の更新のため、年末に、臨時閉館をし、利用者の方々に大変ご迷惑をおかけしましたが、今月5日から開館しています。

ここでは、新しく誕生したサービスについて紹介します。

当館は、古地図、古典籍を相当数持っており、順次、デジタル化しています。今回、準備の整った古地図約80点が館内ディスプレイで閲覧できます。近く、インターネットで家庭からも見る事ができます。

備中高松城水攻めの図、明和年間の美作国絵図など興味深い資料があります。

こうした資料は、貴重資料として、厳重な管理をしており、あまり目にふれることはなかったものです。学術研究用とされていた資料が、デジタル化によって、誰でも自由に利用できるようになり、図書館利用者の層が広がってくるものと思います。

新しい県立図書館の整備が進むなか、今後、各界各層、できるだけ多くの県民の方に利用していただけるよう努めてまいります。



おがやま人物往来 ⑤9

太田辰五郎

鉄山業を営むかたわら、牛の改良繁殖に心を砕き、体型が優美で堅牢、性質温順な千屋牛を作り上げた。

寛政2年(1790)阿賀郡千屋村(現新見市)に生まれる。天保2年(1831)家業である鉄山業と「千両箱を飛び石にして江戸まで行く」と言われる

ほどの莫大な資産を受け継ぐ。

砂鉄を採取するための鉄穴流しは、大量の濁水や土砂を高梁川に流出させ、下流一帯の農家に被害をもたらすこととなる。下流の人々からの抗議が何度も起こっていたが、その度に上流では死活問題であることを理由に退けていた。期間や場所を限定するなどの案も採用されたが、この対立がなくなることはなく、辰五郎のときには江戸幕府の裁きを受けるほどの騒ぎとなった。

辰五郎は、その一方で莫大な資産を背景に牛の改良を企図し、元来小型種であった千屋牛



太田辰五郎翁顕彰碑
新見市千屋実市場
(岡山県立博物館提供)

を、大型で丈夫、性質のおとなしいものに改良した。その優良な牛は「大赤蔓」と呼ばれ、役肉用牛として喜ばれた。

完成した千屋牛を広く販売するため、天保5年(1834)辰五郎は自宅を提供して千屋牛馬市を開設する。以後、毎年この市に集まる人々の評判によって、千屋牛の名は全国的に知られるようになった。また、牛市自体も農繁期の後に開催されたので、芝居や露店が集まり、次第に大変な賑わいをみせるようになったという。

現在でも岡山県種雄牛の多くは、この系統といわれており、岡山県では、碁盤の上に乗る千屋牛の像を千屋ダム近くに設置して、その性質の良さをアピールしている。

その他、太田辰五郎の名は社会的にも様々な貢献をしたことで知られた。

天保4年(1833)、6年(1835)のいわゆる天保の大飢饉のときには、飢えに苦しむ人々のために、莫大な財産を使って救済にあたった。また、江戸城西の丸普請用の小割鉄400束を献納したこともあった。

天保8年(1837)に、花見村(現新見市千屋花見)の農民が強訴を計画したときには、辰五郎は彼らの説得に当たり中止させた。

これらの功績により、永代苗字帯刀を許されている。

嘉永7年(1854)に没する。

参考文献

「伝記 太田辰五郎」/太田忠久著/太田辰五郎顕彰会1991 ほか。

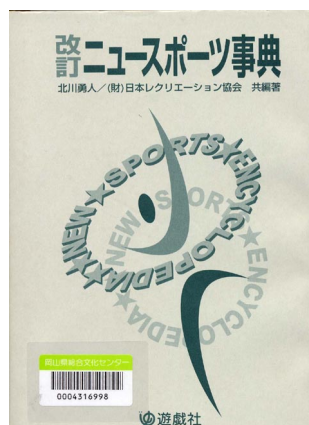
うちの当館の参考図書 ①13

改訂ニュースポーツ事典

(北川 勇人、財団法人日本レクリエーション協会共編著 遊戯社 2000)

「スケートフォークダンス」「ハイアライ」「バスケットピンポン」「パットパットゴルフ」「リズムなわとび」……種目索引のページを開くと、耳慣れない競技名がかなりあり見飽きない。

本書は、合計102種目のニュースポーツをとりあげて紹介している。内容はその競技の概要、ルール、用具、歴史などである。



また、巻末には各競技の協会・団体及び各都道府県レクリエーション協会の連絡先がリストアップされている。本書を見て興味を持った種目について、深く知るための手がかりになるであろう。

ちなみに、本書巻頭の「ニュースポーツは何種類あるか」の項によると、ニュースポーツは、文部省で把握しているだけで400~500種類あるそうである。

平成12年度岡山県読書大会

平成12年度岡山県読書大会が、読書週間中の10月28日（土）に、早島町の早島町民総合会館（ゆるびの舎）で開催されました。

今回で29回目を迎えた本大会は、2000年が「子ども読書年」であることから、子どもの読書推進につながる内容となるよう配慮しました。

まず、開会行事では、県下の読書推進に貢献して下さった方々の表彰を行いました。その後プログラムに移り、ここでは、平素から図書館と深くかかわり、図書館とともに活動を続けておられる県内のボランティアグループの方々に、人形劇や絵本の読み聞かせなどの発表を行っていただきました。どのグループも日頃の活動を存分に発揮した内容で、すばらしいものでした。

当日は、雨天にもかかわらず、県内の一般の方々や読書グループ、図書館関係者など500名を超える参加者があり、改めて図書館に対する期待や読書への関心の高さをうかがい知ることができた一日となりました。

今回も関係者各位のご協力により、成功裡に終わることができ、深く感謝いたしております。



開会式の様子

平成12年度岡山県読書大会表彰等の受賞者

岡山県読書大会表彰

岡山県下において読書の推進及び普及に尽力し、その功績が顕著なものを表彰するものです。

・はやしま本だいすきの会

代表者 安原恵美子（早島町）

・倉敷市子ども文庫交流会

代表者 有田恵美（倉敷市）

優良読書グループ表彰伝達

（社）読書推進運動協議会が、読書グループの育成と顕著な活動を行っている優良読書グループを表彰し、その伝達が本大会で行われました。

・倉敷朗読研究会

代表者 仁平米子（倉敷市）

（敬称略）

発表して下さったボランティアグループの皆さん

おはなしの会かたつ夢り（早島町）
ストーリーテリング『ラプンツェル』
『鳥のみじい』

渡部秀人（早島町立図書館長）
講演『人にやさしい図書館を目指して』

たんぼぼの家（久米町）

人形劇『ぐりとぐら』

いろえんぴつ（津山市）

布絵しばい『橋かけ大婆んば』

はやしま本だいすきの会（早島町）

絵本と音楽『とんとんとんのもりうた』



人形劇『ぐりとぐら』
たんぼぼの家の皆さん

一日こども図書館フェスティバル

日時：平成12年10月1日

場所：くまやまふれあいセンター
熊山町中央公民館

「一日こども図書館フェスティバル」は、読書離れの進む子どもたちに、多くの図書に触れられる機会を与え、特に図書館のない地域の子供たちに、楽しい図書館の一日を体験してもらえよう、岡山県読書推進運動協議会が、毎年開催しているものです。6年目を迎えた2000年は、くまやまふれあいセンターと熊山町中央公民館で開催され、保護者も含め450名に上る参加者でにぎわいました。

2000年は、「子ども読書年」ということもあり、ひとりでも多くの子どもたちが読書に親しむことのできるよう、例年以上に楽しい催しを企画しました。

当日は、熊山町内



にぎわい、大盛況でした。

また、このたび初めての試みとして、図書のリサイクル市を行いました。大変好評で、特に、児童書は大人気でした。



の小・中学生10名を一日図書館員に任命し、図書の貸出業務を体験してもらいました。なお、その日の図書貸出は、通常の2倍以上で、350冊程度ありました。

公演の部では、人形劇団「やさいばたけ」の皆さんによる人形劇や、岡山理科大学の先生・大学院生を講師に迎えた科学実験、「子ども読書年おかやま」の「おはなしキャラバン隊」の皆さんによるおはなし会、有志によるコンサートなどが行われ、どのコーナーも子どもたちで

今回のフェスティバルを通して、参加者の皆さんに、「図書館」という存在が少しでも身近なものに、また、特に子どもたちへの読書意欲、読書の楽しみに力添えになればと思います。

『子ども読書年』とは

平成12年5月5日の「子どもの日」に、上野の「国際子ども図書館」が開館することを記念して、西暦2000年は『子ども読書年』とする旨が、平成11年に衆参両院で決議されました。子どもの読書活動の振興を図るため、政官民をあげての取組ということで、全国各地で様々な催しが行われました。



2000年は、子ども読書年

新着郷土資料紹介

陽は昇る 信朝寛著 アス発行 2000 263\$
生かされて生きる使われて踊る 黒住宗道著
 産経新聞東京本社発行 2000 199\$

大滝山物語 丸尾弘然著 大滝山実相院発行
 2000 227\$

**もうひとつの四百年 備前宇喜多領と二十六
 聖人殉教事件** 児島みつゑ著 手帳舎発行
 2000 237\$

**国分寺 天平時代の国家と仏教 津山郷土博
 物館特別展図録第14冊** 津山郷土博物館編、発
 行 2000 63\$

**吉備と京都の歴史と文化 仏教大学鷹陵文化
 叢書** 水野恭一郎著 仏教大学通信教育部発行
 2000 315\$

吉備されど吉備 創立30周年記念、水内昌康

**会長頌寿記念、誌上語る会 古代吉備国を語る
 会編、発行 2000 342\$**

**中井の歴史と文化 神社編 備中方谷夢づく
 りの里** 中井公民館編、発行 2000 30\$

**徳川三代を支えた板倉家 特別展 高梁市歴
 史美術館編 高梁市教育委員会発行 2000 52
 \$**

西大寺物語 青江文次著、発行 2000 85\$

**江戸時代の教育と閑谷学校 平成12年度岡山
 県立博物館特別展** 岡山県立博物館編、発行
 2000 87\$

**遠い日よ友よ 岡山農業専門学校第一期卒業
 50年記念誌** 岡山農業専門学校編 美成（印
 刷） 2000 209\$

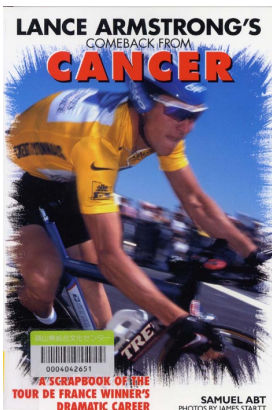
大通寺庭園 庭園の沿革と特色 斎藤忠一著
 大通寺発行 2000 42\$

井原の文化財 改訂 井原市教育委員会編、
 発行 2000 45\$

外国語資料紹介

ドラマ

**Lance Armstrong's comeback
 from cancer : A scrapbook of the
 Tour de France winner's dramatic
 career (by Samuel Abt / photographs
 by James Startt / Van der Plas Publications /
 2000)**



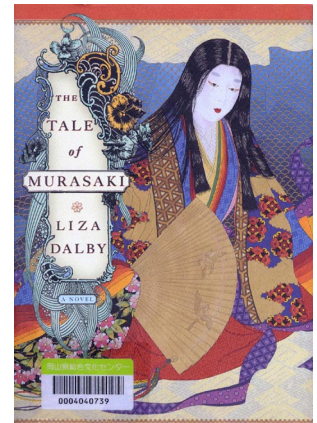
世界最大の自転車
 ロードレース、ツー
 ル・ド・フランスの
 1999年総合優勝に輝
 き、「マイヨ・ジョー
 ヌ」を手にした、アメ
 リカのランス・アーム
 ストロング選手。彼
 は、1992年にデビュー
 し、頭角を現したにも
 かかわらず、1996年に

はガンと診断され、選手生命の危機に直面した。この本では、闘病生活に打ち勝ち、サイクリング界の頂点を極めた彼の生きざまがドラマチックに描かれている。

紫式部

**The tale of Murasaki (by Liza
 Dalby / Doubleday / 2000)**
 この作品は、11世紀に書かれた世
 界初の小説とされる「源氏物語」の
 作者である紫式部の生涯を小説化したものであ
 る。彼女の夫・親族・女性たちとの日常のやり

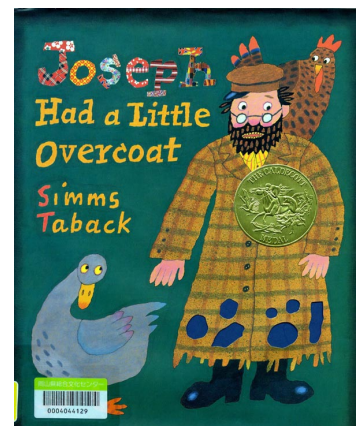
とりだけにとどまら
 ず、平安期の儀式・
 典礼、装束から、和
 歌などの文学に至る
 まで詳しく描写され
 ている。優雅でエキ
 ゴチックな日本の王
 朝世界が時代を超越
 して生き生きとよみ
 がえってくるようで
 ある。



絵本

**Joseph had a little overcoat (by
 Simms Taback / Viking / 1999)**

「ジョセフは、小さなオーバー
 を持っていたが古くなってあちこち穴
 だらけだった。あまり古いので、それからジャ
 ケットを作ってみた。さらに、それが古くな
 るとベストに、さらにスカーフに、もっとすす
 んでネクタイにと再
 利用していった。
 そのあと、彼は、
 何を作っていくの
 だろうか？」これ
 は、児童書部門で
 数々の賞を受賞し
 つづけているシム
 ス・タバックの
 2000年度コルデ
 コット賞に輝いた
 作品である。



随想

過疎の魅力

水彩画家 田中佳美



ちょっとした偶然から、旭川中流域の旭町へ神奈川県から移り住んで3年。

朝は旭川から昇る雲海を眺め、夜は満天の星を仰ぎ見る毎日です。自然の移ろいが肌身に感じられる生活は、私の絵にも生活にも大

きな変化をもたらしました。

ここ旭町は人口3500人余り、面積83平方キロメートル。おおざっぱに計算して一人が7000坪の土地に住んでいることになります。

小学校1つ、中学校1つ、点滅信号1つ、もちろんコンビニなどない静かな過疎の町です。

土地の面積に対する適正な人口密度があるとすれば旭町はとても適正な人口と言えるでしょう。人家は密集していなくて人間のばらつき具合がちょうど良いのです。物理的な距離は人間関係にも程良い距離を保ち、心にも身体にも大切なことのようにです。

人間が少ないということは、人ひとりが担う役割が実に多面的で、果たす責任も広くなります。たいていの場合生業は複数持ち、加えて消防団、農家組合、林業組合などの違った特殊技能を一人でいくつも持っているのが普通です。その能力を出し合うことで地域活動は成り立っています。

人口の多い都会では、例えば会社勤めの人なら、大半を職場で過ごし家には寝に帰るだけのこと。活動の場と生活の場は一致しません。

だからその人の能力や技能を地域の人びとは勿論、家族すら充分に知ることが少ないのです。当人も技能や能力を知ってもらい地域で活かすには、大変な努力と意志が必要となります。

自治体の人材募集は一方通行的に求められ、組織対個人の関係でしかありません。身近な人がどんな能力を持ち、どう活かされたいかというきめ細やかな情報を汲み取る仲介が抜けているのが現状です。

それは人間の数が多過ぎることから起こります。「自分の代り」をする人は他にもたくさんいるので、だから誰しも何もしないで済んでしまうのです。

私も都会暮らしの間、自分の能力を活かすの

は仕事の有利な条件ぐらいに考え、さほど自覚もせず責任など考えもしませんでした。

旭町に越して来たとき、自己紹介のつもりで個展を開いたのがきっかけとなり、教育委員会のお世話で水彩画教室をもつことになりました。

それから2年半、昼のクラスは高齢者や主婦の方、夜のクラスは昼間の仕事を終えてからの皆さんが集まり、熱心に絵を描いていらっしゃいます。その熱意には私のほうが感動して頭が下がる思いです。

生徒のみなさんは地元で絵が習えるチャンスは今まで待たれていたので。

その出会いはまた、私にとっても薄ぼんやりとしていたなすべきことが、ここで役割を与えられてはっきり自覚するものになりました。

小石ほどの小さな力でも、過疎という水面だから波紋になり得たと思います。

これは私の一例にすぎませんが、過疎では各人がもつ能力をフルに活かさなければならぬ責任があり、活かしてもらえる喜びがあります。

しかし反面、競争と刺激が少ないだけに現状に満足してしまいがちで、「田舎はレベルが低い」と言われる状態になる危険があります。

井の中の蛙になるかならないかは、自分のところ一つ。全体を客観的にみる冷静さと、技能を磨く努力を絶えず続けなければならないのは、何処にいても同じことでしょう。

縁あって住み着いた過疎の旭町で、必要としてもらえる幸せを感謝してくらしています。

岡山県総合文化センター業務システム リニューアル・オープン

昨年末は、当センター図書館部門のコンピュータシステム更新のため、臨時閉館をさせていただきます。

利用者の方に多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、寛大なるご理解をいただいたことに感謝申し上げます。

本年1月5日より、郷土資料室での画像情報提供を加えて、従前どおりの業務を再開いたしましたので、どうぞご利用ください。

平成13年

2・3月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー（開場時間 9:00～17:00）

期間 (週)	第1展示室		第2展示室	
	大室	小室	大室	小室
1/30～ 2/4	有鄰書道会 林陽舟一門展 書(かな)320点 有鄰書道会 入場無料		第17回岡山県工業高校デザイン展 デザイン(岡山工業高校デザイン科、高梁工業高校デザイン科・ インテリア科、東岡山工業高校設備システム科)400点 岡山県高等学校工業教育協会デザイン系部会 入場無料	
2/6～ 2/11	第68回独立展(巡回展) 油絵110点 独立美術協会 (前)一般600円(当)一般700円・高校生以下400円・障害者無料			
2/13～ 2/18	第32回岡山県高等学校美術展 絵画268点, デザイン91点, 立体11点, 工芸10点 岡山県高等学校美術部協議会 入場無料			岡山水彩作家展 水彩画30点 岡山水彩作家会 入場無料
2/20～ 2/25	ノートルダム清心女子大学児童学科卒業制作展 油絵・デザイン・彫塑 約30点 ノートルダム清心女子大学児童学科美術研究室 入場無料		中国デザイン専門学校造形専門課程3年卒業制作展 デザイン70点 中国デザイン専門学校 入場無料	
2/27～ 3/4	第133回県下小・中学校習字(書き初め)展覧会 小中学生習字作品約1500点 岡山県習字教育研究会 入場無料		第5回医用デザイン展(2000卒業制作展) デザイン作品約160点 川崎医療短期大学医用デザイン科 入場無料	
3/6～ 3/11	岡山大学教育学部特別教科教員養成課程 卒業・修了制作展 油絵・日本画・彫塑・デザイン・染織・陶芸・木工他約100点 岡山大学教育学部美術・工芸教室 入場無料		特美展 油絵・日本画・彫塑・デザイン・染織・陶芸・木工他約100点 岡山大学教育学部美術・工芸教室 入場無料	
3/13～ 3/18	岡山県立大学デザイン学部・岡山県立大学大学院デザイン学研究科 卒業・修了制作展 平面及び立体作品約100点 岡山県立大学・岡山県立大学大学院 入場無料			第33回岡山美術クラブ展 日本画・洋画・木彫・染色・ 陶芸・書道計176点 岡山美術クラブ 入場無料
3/20～ 3/25	第34回聖雲書道会展 書道約250点 聖雲書道会 入場無料		第32回備前陶心会展 陶芸(備前焼)約45点 備前陶心会 入場無料	木曜会写真展 写真約80点 木曜会 入場無料
3/27～ 4/1	請(あお)の会展 日本画45点 請(あお)の会 入場無料	第19回豊玉会世紀に光展 木彫55点 木工30点 漆塗50点 豊玉会 入場無料	第19回墨光会展 書道60点 墨光会 入場無料	スックス インスタレーション他 スックス 入場無料

ホール(固定席282席)

(平成12年12月現在)

日曜)	催物	時間	料金	主催者
2/3(土)	岡大軽音フォーク・清心パピルス Joint Live	13:00～16:00	300円	岡大軽音フォーク・ 清心パピルス
2/17(土)	マスカット バイバイコンサート	13:00～16:30	500円	岡山理大軽音サークル マスカット
2/18(日)	卒業公演「Go Together」 演奏会	15:00～16:30	無料	就実高校演劇部
2/24(土)	(就実フォークソング部 おもちゃ箱 BYE BYE ライブ)	13:00～16:00	500円	就実大学フォークソング部 おもちゃ箱
2/25(日)	パピルス バイバイコンサート	13:00～16:30	500円	ノートルダム清心女子大学 軽音楽部パピルス
3/1(木)	ホール使用抽選会 対象期間: H13年9月～11月	9:00～		岡山県総合文化センター総務課
3/10(土)	演劇公演	18:30～	前 1,500円 当 2,000円	秘宝館昇天堂一座
3/11(日)	「夢幻の薔薇(ばら)」	13:00～ 17:00～		
3/14(水)	花の銀行頭取会議	10:30～15:30	無料	岡山県明るい県民運動推進協議会
3/17(土)	3月文ゼンライブ	13:00～16:00	無料	軽音口ツク
3/24(土)	春コンサート	未定	無料	岡大鹿田軽音楽部

抽選会は, 3/1(9～11月)・6/1(12～2月)・9/3(3～5月)・12/3(6～8月)です。

ただし, 使用目的は, ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等, 営利目的以外の催しに限ります。

会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員

平成12年度岡山県総合文化センター友の会作品展開催。(2月20日～25日)

文化センターホームページがリニューアルしました。ぜひご覧ください。